

平成23年11月9日  
四国地方整備局  
土佐国道事務所

## 地元小学生の現場見学会を開催しました。 ～ 建設中の四国横断自動車道(須崎新荘～窪川) ～

四国地方整備局土佐国道事務所では、整備を進めている四国横断自動車道(須崎新荘～窪川)の工事現場において、地元小学生を招いて現場見学会を開催しました。

見学会は、10月7日、11日の2日間にわたり行い、地元の中土佐町立久礼小学校の1年生から6年生の約210名の児童の皆さんが現在工事を進めている中土佐ICから影野トンネルの間の工事現場を見学しました。

中土佐IC付近の現場では、ブルドーザーやバックホウ、高所作業車などの機械に触れてもらう体験と、実際に切り土工事を行っているところを見学してもらいました。また、橋脚高さ四国一の大坂谷川橋の上では、記念撮影と橋の高欄にチョークで自由に絵を描いてもらいました。5、6年生はさらに影野トンネルに移動し、トンネル内でのコンクリート打設工事を見学してもらいました。

### ○見学後にいただいた感想文より

「はしのしたをみたらこわかった。はしのかべにえをぬっておもしろかった」(1年生)

「また高そく道ろができたら、一番さいしょに行きたいです」(2年生)

「ショベルカーとブルドーザーが動いているところを見ました。はく力があってすごかったです。」(3年生)

「石とかすくうやつは人が二人入れたので、びっくりしました」(4年生)

「トンネルを作るのはダイナマイトを使うこと、カーブを減らすにはトンネルや橋を多めに作らなくてはいけないことなどたくさん勉強になりました。」(6年生)

※見学会の様子は、土佐国道事務所ホームページ(<http://www.skr.mlit.go.jp/tosakoku/>)でも紹介しています。

※中土佐IC～窪川IC(仮称)の延長14.8kmにおいて、平成24年度の全線開通に向けて工事を推進しています。

### お問い合わせ先 (○主な問い合わせ先)

国土交通省 四国地方整備局 土佐国道事務所 電話 088-884-0359(代表)

副所長(改築) 上沖 勝則 (内線)204

○工務課長 黒木 賢二郎 (内線)411

## ○見学会の様子



最初に現場の監督官から、工事の説明をしました。みんな真剣な表情で聞いていました。



ブルドーザーの前で記念撮影です。



実際に機械を動かして、土を切り土するところの様子を見てもらいました。



四国一高い大坂谷川橋のうえで、高欄にチョークで自由に絵を描いてもらいました。



影野トンネルの中で行っているコンクリート打設工事を見学してもらいました。

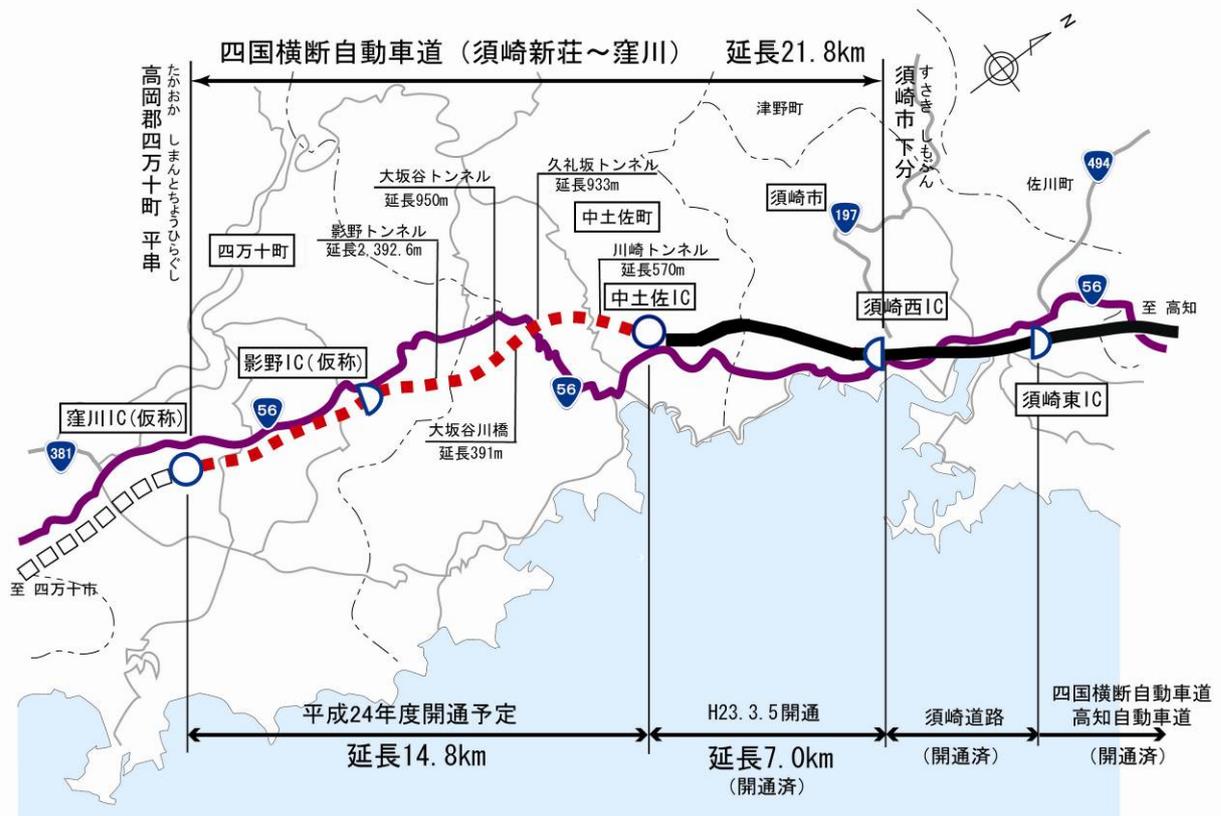


大坂谷川橋のうえで記念撮影。

◎四国横断自動車道(須崎新荘～窪川)について

四国横断自動車道(須崎新荘～窪川)は、一般国道56号須崎道路を介して須崎以東の四国横断自動車道と接続し、高規格ネットワークを形成し災害時の支援道路としての役割を担う道路として、国土交通省において新直轄方式※にて整備しています。このうち、平成23年3月に須崎西IC～中土佐ICの延長7.0kmが開通しました。現在、中土佐IC～窪川IC(仮称)の延長14.8kmにおいて平成24年度の全線開通に向けて工事を推進しています。

※新直轄方式：国と地方自治体が事業費を負担して道路を整備する方式



大坂谷川橋

橋脚の高さ74mは四国一。



中土佐インター(窪川方面)の工事状況

全体の約9割の切り土が完了している。